

つぎはぎ通信は 緋shop 西田が発行してほす。

つぎはぎ

第151号

2025年 1月



〒959-2021 阿賀野市中央町2-10-10

『ゴッホ展』に行ってきました。

11月20日頃だったと思いますがラジオを聞いていました。その番組の中で「東京都美術行食館で『ゴッホ展』を観てきました。」という声があります。良く聞いてみるとまず「大変おもしろかった。」その次に大変混雑していたのでまだ観てない人は早く出かけた方が良いでしょう。12/21(日)までです。」と云うではありませんか！次第に『ゴッホ展』が気になり

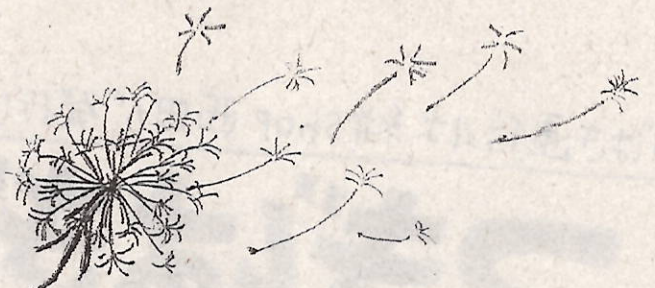
サント 日ノ帰りで私は絵画についてはSOMPO美術行館(新宿)が対面していたのでもっと今回は『家族が』タイトルの通りゴッホいかに信念をもって世に考えて活重かしてたって1973年に国立(オランダの首都アムステルダム)ということなのですが...



11/26(水)の定休日を利用して上野の森まで行って来ました。全くの素人ですが今年の4月に『ゴッホのあの『ひまわり』と偶然彼を知りたい思い出かけました。つないだ画家の夢』というの死後、残された家族がなめ、そして散り惜みにならないようにして彼の死後83年がムセトファンゴッホ美術館に開館する事ができました。

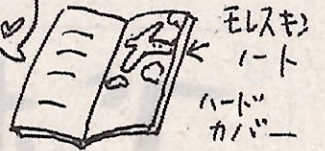
今回ゴッホについて初めて知った事がいっぱいあって書き切れそうにありません。そのひとつ先ず私の頭の中にあるゴッホ像は「なんであんな変な画風? タッチ? なのに多くの人魅了されるのだろうか?」なんて思っていました。変に思ってもや。はりその変なのがまた良く思っていました。それはもうゴッホの晩年といわれる南仏で生活した2年余りの絵の特徴で、当時はとても前衛的な絵画だと思われたようです。それで納得。近代画家となっていたんですね。オランダ時代に描いた絵は色彩がとても暗く、フランスのパリに行ってから色彩は少しづつ明る目が加わり南仏に移った1888年から七くた1890年までの2年余りについてあの画風にたどり着いたようです。27才で画家になる事を決意し37才で七くなるまで約2000点もの作品を残したゴッホとゴッホ一家の偉業を感じた一日でした。

Staffの^{スタッフ}声



夢ハートのちから

夢ハート
ワワワ

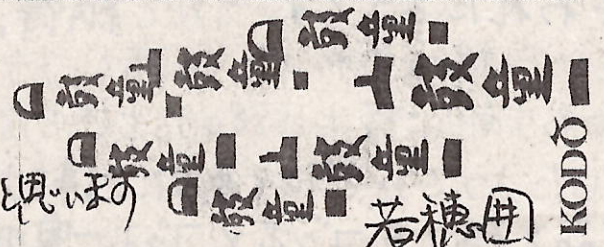


夢ハートって不思議。書いたことがだんだん現実になっていく。
 知り合いが夢ハートを書き始めて、書いたことを忘れていた「願いか」
 思いがけない形で口にしたそうです。「えっ、これ書いた！」夢ハートを開いてビックリしたと
 それを聞いて、私も書きはじめました。日にちも入れて。
 数字は意識を「今」に引き戻してくれるから。「いつか…」は正しいあなは「今」だけ。
 だから夢は未来に預ける。ハートに迎えに行く。

今

友人に誘われて「鼓童」を見に行きに来ました。初！です。初鼓童です!! 早々に燕喜館のとりの
 駐車場に停めて友人を待つ間、白山神社に行き、七五三のかわい子供を見、「ハイっです!!」
 「さっけー!!」と頑張る写真屋さんの声を聞き、厄年あといっぺん、とこで白山神社でお詣り。
 友人と合流。古町をフラフラ。軽やかなのりが、がっつりカシ。14時スタート少し前、県民会館のトイレは
 大行列。「会場内のトイレはいっぱいあります!!」とスタッフが一生懸命お客様を誘導していました。
 小一遅れのスタートでした。私たちは2階の中段。上からステージ全体が見える位置でした。しかし前の席に座った
 人は熱烈のめりか前めりか「ハッ!」と立って最終まで。私の左側は捨てることにしました。
 会場のあたたかさと満るがーで、あんなに!! 体に響く太鼓の音なのに、私のまぶたが三つ返り。ビックリ!!
 いくら何となく!! 友人は「悪いの吹き飛ばしもらう感じ」と言いはれたが、あの大きな音と振動かに包まれて
 いじりよく、リラックスした〜と思えばいいのかな? すっさとしゃべりておま、でも私は「でリラックスと言ってるな」

あ、と気にしている事があります。今は暗い寒いので毎朝の散歩は休
 びますが毎朝散歩で寄る近くの小さな神社にビニールの中に入れてお祈りが
 2ヶ月ほどずると賽銭箱の脇に置いてあるのです。女の子の後験かなあなど
 願いのためのお参りにここに置いてお祈りしたのか。勝手に思いながら
 思ひ虫に取りに来してほしい。こしはらく
 神社に行き、お祈りして散歩再開しよ
 神社に行、たもつて持ち主の糸元にあるといいなと思ひの
 若穂田



KODŌ